

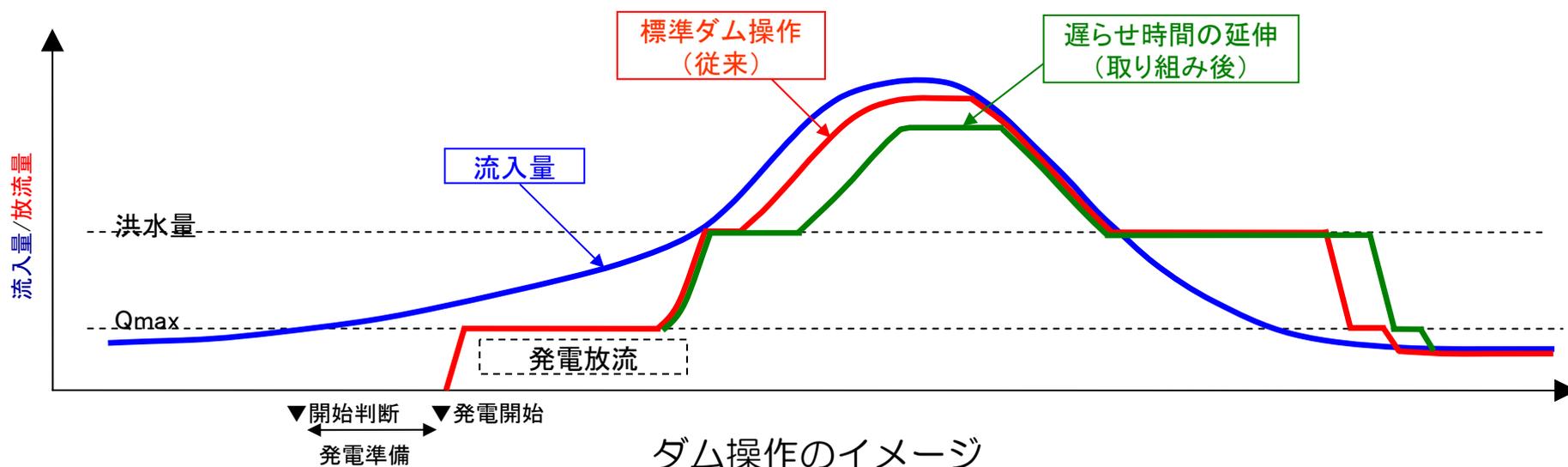
ダム放流量低減に関する取り組みについて

平成 24年 6月
電源開発株式会社

奥只見ダム田子倉ダムにおける暫定運用

1. 概要

- 平成23年7月新潟・福島豪雨による洪水被害を踏まえ、大規模出水時のダム放流量の低減を目的として、洪水に到達する際の水位「迎洪水位（目標水位）」を設定し、空き容量を確保する。
- 確保した空き容量を利用し、ダム放流の遅らせ時間を延伸させることにより、標準的なダム操作に比べて最大放流量の低減を目指す。
- 本暫定運用をダム操作規程に位置付ける（操作規程を改訂する）方向で国と協議中。



奥只見ダム・田子倉ダムにおける暫定運用

2. 運用期間

- 暫定運用は平成24年から実施し、毎年6月21日～10月10日を運用期間とする。

3. 目標水位

- 運用期間の間、洪水到達時のダム水位は下表に示す目標水位以下となるよう運用する。

ダム名	奥只見ダム	田子倉ダム
目標水位	標高 748.0m	標高 507.0m
参考：満水位	標高 750.0m	標高 510.0m

4. 暫定運用の検証

- 暫定運用の実施に伴う洪水時のダム放流量の低減効果、下流利水への影響、および降雨予測と実績との関係等について、検証を行う。
- 検証結果については、本情報連絡会に報告する。（原則、1回／年）
- 検証によって必要と判断した場合は、暫定運用の内容を変更することがある。